

2014(平成 26)年度 事業計画

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

1. 研究会運営

6月28日に「公開理論研究会」を開催 話題提供：小川潔理事 会報にも収録する。

2. 調査提言

(1) CITES、生物多様性条約など国際会議および世界の野生生物の状況を情報収集（継続）

(2) 生物多様性に影響を及ぼす奨励措置に関する研究・提言（3年計画3年目）

～愛知ターゲット目標3の達成とグリーン経済への転換に向けて～

【地球環境基金助成事業・IUCN日本委員会にじゅうまるプロジェクト登録事業】

(3)野生動物の調査

① IUCN/SSN スローロリス保全行動計画の策定に協力

スローロリスの保護団体「Little Fireface Project」と協力し、日本でのスローロリスの流通と飼育の状況について調査を行う。この調査結果はIUCN/SSN スローロリス保全行動計画において、輸入国の法執行や教育普及の検討などに活用される予定である。

② クマの出没対策調査

2013年はクマの冬眠前の餌として重要な堅果類が豊作だったため、2014年は凶作が予想される。

そこで2006年に行ったクマが生息する道府県へのクマ出没対策アンケートを2014年も実施する。

3. 生息地支援

J X日鉱日石エネルギー（ENEOS）からの寄付により、ゴリラの生息地で保全活動を行っているWCSコンゴとポレポレ基金を支援（継続3年目）

4. 普及啓発

(1) 調査提言事業および翻訳ボランティアのご協力により得た、消費と絶滅に関する情報をウェブサイト、印刷物等で情報発信する。英訳による発信も行う。（継続）

【IUCN日本委員会にじゅうまるプロジェクト登録事業】

(2) 野生生物セミナーの開催 今後、毎年一回は開催する。

(3) IUCN日本委員会にじゅうまるプロジェクトの登録団体としてイベントに協力（継続）

(4) 講師派遣およびパネルや動画などの貸し出し、エコプロダクツ出展（継続）

(5) ウェブサイトを改定する。（改定費用は特定資産取崩収入でまかなう）

5. 国際会議参画

(1) IUCN、SSN、WSPA、CBD ネットワークのメンバーとして情報収集と情報発信（継続）

(2) 生物多様性に影響を及ぼす奨励措置に関する研究・提言の一環で CBD COP12（10月、韓国）に参加。前回同様にNGO合同で報告会が行われた場合参加する。

6. 会報発行

(1) 年3回発行

(2) メールマガジン、ウェブサイトなど電子媒体による発信。

7. NPO運営

認定NPOの取得をめざす

8. 役員選任の件

・第1号議案定款変更で、「第12章名誉会長」の項が承認された場合、小原 秀雄（理事）を名誉会長とする。

・田村（鈴木） 希理恵（理事）を事務局長とする。